



# 2002年アカデミー賞受賞!

## 助演男優賞受賞、主演女優賞・助演女優賞ノミネート

2002年英国アカデミー賞(BAFTA)

主演女優賞受賞(ジュディ・デンチ)

主演男優賞(ジム・ブロードベント)

助演女優賞(ケイト・ウィンスレット)・助演男優賞(ヒュー・ボナヴィル)

作品賞・脚色賞ノミネート

2002年ゴールデン・グローブ賞

助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)

主演女優賞ノミネート(ジュディ・デンチ)・助演女優賞ノミネート(ケイト・ウィンスレット)

2002年バラエティ誌ショービジネス賞

最優秀映画女優賞受賞(ジュディ・デンチ)

2002年SAG(アメリカ俳優協会)賞

主演女優賞ノミネート(ジュディ・デンチ)・助演男優賞ノミネート(ジム・ブロードベント)

2002年イヴニングスタンダード・英国映画賞

最優秀女優賞受賞(ケイト・ウィンスレット)

2002年ベルリン国際映画祭

ニュータレント賞受賞(ヒュー・ボナヴィル)・金熊賞ノミネート(リチャード・エア)

2001年ナショナル・ボード・オブ・レビュー賞

助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)

2001年LA批評家連盟賞

助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)・助演女優賞受賞(ケイト・ウィンスレット)

2001年ロンドン批評家協会賞

主演女優賞受賞(ジュディ・デンチ)

作品賞・主演男優賞(ジム・ブロードベント)・助演女優賞(ケイト・ウィンスレット)ノミネート

幾千の言葉を失って、  
私たちはやつと愛に辿り着いた。

# アイリス

ジュディ・デンチ ジム・ブロードベント ケイト・ウィンスレット

ヒュー・ボナヴィル ベネローフ・ウィルトン サミュエル・ウェスト ティモシー・ウェスト エレノア・ブロン

監督 棚田チカドエア 原作 ジョン・ベイルー 音楽 ジョームズ・ホナー ガイ・イリソ音楽 ジョシヤ・ベル 2001年イギリス インターメディアフィルム

ス・BBCフィルムズ、ミラマックスフィルムズ提供 / ミラー・ジョイント・ブライズ、ロバート・フォックス、スコット・テイン・プロダクション作品 / 原作：棚田チカドエア

「アイリスとの別れ 別作家が過去を失うとき」/ サウンドトラック：ニュー・クラシカル / 後援：ブリタニッシュ・カウンシル / 配給：和光 MIRAMAX FILMS

“イギリスで最も素晴らしい女性”と讃えられる作家  
アイリス・マードックとその夫ジョンの激しくも深い愛の軌跡。  
数々の映画賞に輝く、真実のラブ・ストーリー



INTERMEDIA FILMS INC. FILMMAKERS GROUP MEMBER COMPANY BRITISH ENTERPRISES/ROBERT FOX/SCOTT RUDIN PRODUCTION A MIRAAMAX FILMS FILM PRODUCED BY SCOTT RUDIN AND SALLY WATSON WRITTEN BY HUGH WINTERSON  
CASTING DIRECTOR ANNETTE BROWN COSTUME DESIGNER RUTH MYERS MUSIC COMPOSED BY JAMES NEWTON HOWARD CONDUCTED BY JAMES NEWTON HOWARD EDITOR IAN WALKER EXECUTIVE PRODUCERS  
GEMMA JARVIS DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY RACHEL FRANKS EXECUTIVE PRODUCERS ANDREW COOKHILL SYDNEY POLLACK OUT OF OFFICE HAVON THOMPSON BOB ABNEY HERVEY WEINSTEIN

イギリス演劇の伝統の深さ、豊かさをしみじみと感じさせてくれる、実に優雅で贅沢な作品。ハリウッドでは、逆立ちしてもこのような上品な映画は作れないだろう。

山田洋次さん(映画監督)

かけがえのない愛と自由を探して、アイリスは「言葉」を紡ぎ、「記憶」の水の中を泳ぎつづけた。

筒井ともみさん(脚本家)

昔から私はジュディ・デンチのファン。本当の女優、本物の演技がここに 있습니다。お手本としたい女優さんです。

加藤治子さん(女優)

なんて美しく切ない実話だろう。アルツハイマー病にかかる前に、愛する人と二人で見ることをお勧めします。

新井満さん(作家)

一組の男女が夫婦として数十年培った素敵な関係に、理想の夫婦が現実存在していたことを知る。

マリ・クレール編集部

(エディター 田村厚子さん)

映画を観てこんなに涙を流したのはいつぶりだろう?

でも何だかココロがあったかい。

鶴田真由さん(女優)

文学者が言葉を失っていく悲しさ。だんだん童女に還っていく妻を父のように慈しむ夫。ある夫婦の旅路を見た。

ハーバース・バザー日本版(副編集長 田畑裕美さん)

言葉を忘れ、失ってしまっても、言葉によって紡いだ愛は、しっかりと手の中に残る。愛を実感できる映画。

林あまりさん(歌人)

# アイリス

1950年代、イギリス・オックスフォード大学。純粋な青年ジョン・ベイリーは、自由な精神を持ち、文学の才能に溢れた魅力的な女性アイリスと出会い、一目で恋に落ちる。自由奔放で恋愛経験も豊富なアイリスだったが、いつしかジョンの純粋さ、優しさに惹かれはじめ、ふたりは結婚。時がたち、アイリスはブッカー賞に輝く、イギリスを代表する女流作家、ジョンはオックスフォード大学の教授となった。お互いの才能を認め合い、尊敬しあい、穏やかに深まっていたふたりの愛。しかし、アイリスがある日突然、不治の病に冒されてしまう。

その病は言葉によって考え、表現する作家にとって、致命的な病、アルツハイマー病。日々失われつつある記憶と言葉を書きとめようとする妻を、夫のジョンは必死に支えようとするが…英国でベストセラーとなった、ジョン・ベイリーのノンフィクションを、イギリス演劇界の重鎮、リチャード・エアが見事に映画化。アカデミー賞他数々の映画賞に輝く真実のラブ・ストーリー。幾多の運命を乗り越えて結び合った魂の絆の物語は、時と共に形はさまざまに変容しながらも、決して消えない愛があることを教えてくれるだろう。

愛は無力なときがある。それでも愛の力を信じたくなる——そんな映画、そして実話。

有吉玉青さん(作家)

同志、理解者としての伴侶を得ることは、人生最大の幸せかもしれない。ジョンとアイリスは世界一幸せな人たちだったと思う。

永千絵さん(映画エッセイスト)

ジュディ・デンチは全てをさらけ出した。人間への慈しみを込めて。その美しい演技に鳥肌が立った。

山崎努さん(俳優)

女と男がともに生き、ともに暮らすことの本当の意味を教えられました。愛と信頼のある人生は美しい。

渡辺祥子さん(映画批評家)

言葉を失った作家の背中に「自由」という名の翼が生えているのを、私たちは見ることができるだろう。

フィガロ編集部

出会い、友情、恋、深い愛。人生は辛くて素晴らしい。見終えて外に出て涙が止まらなかったのと同時にこの二人は私の憧れの夫婦になった。

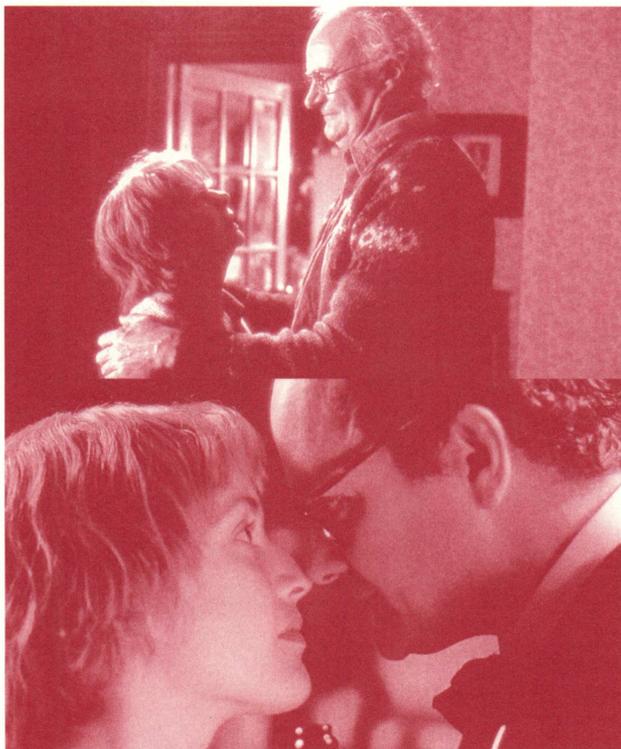
LiLiCoさん(映画コメントター)

オペラ『フィガロの結婚』で魅せた斬新+オシャレを、「愛と老い」に変容させたリチャード・エアの芸術美!

Hanako編集部(平城好誠さん)

名優たちの、最高のほまり役を、最高の演出で観ることの興奮。人生のすべてが、見えるような気がする。

市川準さん(映画監督)



## お正月 感動のロードショー

特別鑑賞券絶賛発売中! ¥1500 (税込・当日一般¥1800の値) shu uemura 劇場窓口でお買い求めの方に、シュウ ウェムラのディブシーウォーターをプレゼント(数量限定)

全国順次ロードショー

大阪:梅田ガーデンシネマ 06(6440)5977 / 神戸:三宮アサヒシネマ 078(221)5588 / 京都:京都朝日シネマ 075(255)6760 / 名古屋:ゴールド劇場 052(451)0815 広島:広島サロンシネマ 082(241)1781 / 岡山:岡山シネマクレール石岡 086(232)2281 / 札幌:札幌劇場 011(221)3802 / 福岡:KBCシネマ1,2 092(751)4268

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り  
シネスイッチ銀座  
03(3561)0707

JR関内駅北口石丸電気(旧ヤマギワ)前  
横浜 関内アカデミー  
045(261)8913

ジュディ・デンチ/ジム・ブロードベント/ケイト・ウィンスレット/ヒュー・ボナヴィル/ベネローア・ウィルトン/サミュエル・ウェスト/ティモシー・ウェスト/エレン・アプロン/監督・脚本:リチャード・エア/原作:ジョン・ベイリー/脚本:チャールズ・ウッド/プロデューサー:ロバート・フォックス、スコット・ルディン/製作総指揮:アンソニー・ミンゲラ、シドニー・ポラック/製作:ガイ・イースト、デヴィッド・M・トンプソン、トム・ヘドレー、ハーウェイ・エインスタイン/撮影:ロジャー・ブラット/美術:ジェマ・ジャクソン/衣装:ルース・マイヤー/編集:マーティン・フォルシュ/音楽:ジェームズ・ホナー/ワイオリン演奏:ジョシュア・ペル 2001年イギリス/インターメディアフィルムズ、BBCフィルムズ、ミラマックスフィルムズ提供/ミラージュエンタープライズ、ロバート・フォックス、スコット・ルディンプロダクション作品/カラー/1時間31分/フィスタサイズ/ドルビーデジタル/日本語字幕:古田由紀子/原作:朝日新聞社刊アイリスとの別れ 1:作家が過去を失うとき/サウンドトラック:ソニー・クラシカル 配給:松竹 MIRAMAX 関内 03(3561)0707 www.shochiku.co.jp/iris